



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	3,306	2,985	百日咳	0	1
RSウイルス感染症	43	70	ヘルパンギーナ	8	4
咽頭結膜熱	34	25	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	61	60
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	71	52	急性出血性結膜炎	1	0
感染性胃腸炎	466	432	流行性角結膜炎 (はやり目)	4	15
水痘	104	122	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	2	1	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	27	27	マイコプラズマ肺炎	1	2
突発性発しん	29	38	クラミジア肺炎	0	0

インフルエンザ

報告が多い
感染症

感染性胃腸炎
水痘

- インフルエンザは、報告数 3,306 件(前週報告数 2,985 件)と増加。
地区別では、八代、菊池、山鹿に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の 581 件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 466 件(前週報告数 432 件)と増加。
地区別では、山鹿、天草、有明、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、20歳以上の 78 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 104 件(前週報告数 122 件)と減少。
地区別では、水俣、宇城、人吉に報告が多くみられる。
年齢別では、2歳の 29 件を最多に、8歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性連鎖球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所	1,034	5	13	44	135	30	2	16	11				9	4				1
山鹿保健所	158				51	3		1				9	*	*				
菊池保健所	376	3	14	6	28	10		2	6			6						
阿蘇保健所	149			2	14								*	*				
御船保健所	84				15			1					*	*				
八代保健所	381	10		3	34	7			1			13						
水俣保健所	53	2	1	1	4	13			1				*	*				
人吉保健所	167	12		3	31	11		1	1			2	*	*				
有明保健所	386		3	1	60	6		1	4			6	1					
宇城保健所	253	4	1	8	36	14		5	1			12						
天草保健所	265	7	2	3	58	10			4		8	4						
計	3306	43	34	71	466	104	2	27	29	0	8	61	1	4	0	0	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	3306	27	64	159	116	186	239	209	178	178	163	152	581	158	217	268	185	126	57	33	10	
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	43	9	13	15	4	1		1					1	1								
咽頭結膜熱	34		4	7	8	4	5	4														
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	71		1	1	2	11	8	10	13	7	3	6	3		6							
感染性胃腸炎	466		20	57	22	35	27	30	30	27	18	22	76	24	78							
水痘	104	1	6	25	29	12	18	5	5	2	1											
手足口病	2				1				1													
伝染性紅斑	27				3	3	4	6	3	3	1	2		2								
突発性発しん	29		13	8	8																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	8		1	2	3			1	1													
流行性耳下腺炎	61		1	7	7	4	13	10	8	4		4	2		1							
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1																					1
流行性角結膜炎	4	1														1	1	1				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	1				1																	
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生 又は継続しつつある地域

- インフルエンザ：熊本、山鹿、菊池、阿蘇、八代、人吉、有明、宇城、天草
- 咽頭結膜熱：菊池
- 流行性耳下腺炎：八代、宇城
- 感染性胃腸炎：山鹿
- 伝染性紅斑：宇城
- 急性出血性結膜炎：有明

インフルエンザ



今週の報告数は、3,306件、依然として警報レベルを超えています。八代、水俣、人吉、宇城の4地域では先週より報告数が減少していますが、県全体では増加を続けています。
年齢別では、10～14歳の581件を最多に乳児から成人までの幅広い年齢層にわたっています。
地域別の報告数は、御船と水俣地域が注意警報レベルですが、その他の地域はすべて警報レベルにあります。
今後の発生状況に引き続き注意が必要です。3,306件の内、3,205件について迅速キットによる診断情報では、インフルエンザA型：3,061件、インフルエンザB型：80件、インフルエンザ型不明：64件となっています。
予防と感染拡大防止のため、次のことに努めましょう。

- 咳エチケットを守りましょう。
- 帰宅時には手洗い・うがいをしましょう。
- 栄養、休養、睡眠を適切に取り体力を保持しましょう。
- 部屋の換気を心がけましょう。

警 報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
注意報：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。

